

## 室内給気部材

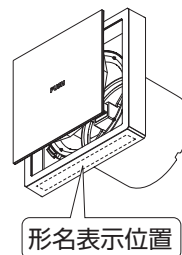
レジスター(プッシュ式)〔壁・天井据付〕

形 名

AT-100SQRKF4

AT-150SQRKF4

メルコエアテクノロジー



取扱説明書（据付説明書付）

この製品は24時間換気方式の排気による圧力差を利用する自然給気口として住宅居住室内の天井・壁に据付けて使用するものです。それ以外の用途・場所には使用（据付け）しないでください。

■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

**据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。**

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。



指示に従い必ず行う



**注意**

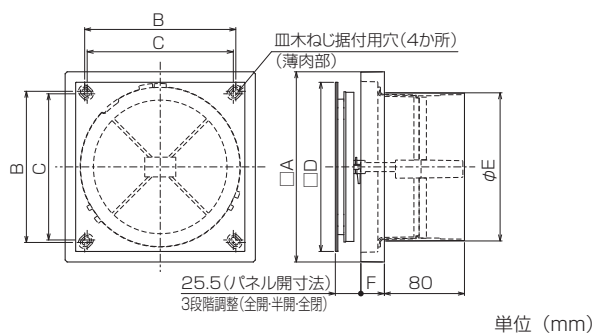
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

- 据付けは確実に（落下によりけがをする原因）
- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）

## 据付け前のお願い

- 屋外環境に適したフードを選定してください。  
雨水がかかる場合……深形フードをおすすめします  
風雨が強く下から吹き上げがある場合……角形耐外風フードをおすすめします  
外の騒音が大きい場合……防音形フードをおすすめします
- 屋外部材を組み合わせる場合、壁厚が薄いと据付けられない場合があります。
- 直接炎・油煙が当たるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所では使用できません。
- 屋外（外気）の環境によっては、壁（天井）を汚すことがあります。また、小さな虫は侵入する場合がありますので、屋外側においては外灯などから離れた場所を選んで据付けてください。
- 外気（冷氣）侵入や雨水浸入、虫侵入の影響のない場所を選んでください。
- 外気の取入れは燃焼ガスなどを吸込まない、積雪で埋もれたりしない場所を選んでください。
- 高温（40℃以上）になる場所・浴室などの湿度が高い場所では使用できません。
- 下記環境下で使用しますとパネル表面から結露水滴下することがあります。  
（屋外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度20℃、室内湿度が50%RH以上）
- 火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れた場所に据付けてください。
- メンテナンスができる場所に据付けてください。
- AT-150SQRKF4は硬質ポリ塩化ビニル管（VP）には据付けできません。
- 接続するパイプは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてください。
- 本体枠が変形し、パネルユニットの回転・着脱不具合の原因となるため、据付けるパイプに著しい変形（ツブレなど）がある場合や突起（ねじなど）がある場合は製品を据付けしないでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用して据付けてください。
- 据付面に反り・凸凹がないか確認して据付けてください。
- 有機溶剤入のシーリング材などは樹脂を溶かすので使用しないでください。

# 外形寸法図



形 名	A	B	C	D	E	F
AT-100SQRKF <sub>4</sub>	140	107	102	119	98	22
AT-150SQRKF <sub>4</sub>	190	151	146	169	148	23.5

## ■付属部品

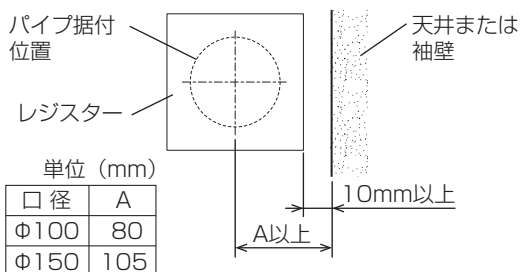
- 気密パッキン(厚さ3mm)… 1本
- 気密パッキン(厚さ5mm)… 1本

## ■適用パイプ

タイプ	適用パイプ 口径 (mm)	適用パイプ		
		硬質ポリ塩化ビニル管 VU	VP	スパイラルダクト
AT-100	φ100	○	○	○
AT-150	φ150	○	×	○

# 据付方法

## 1. 据付け前の準備



### 1. 据付場所を決めて穴をあける。

- お手入れの際、パネルユニットの脱着が必要になるため、左図を参照して外壁に穴をあけてください。

### 2. 製品に合った適用パイプを壁に埋込む。

- 屋外に向けて1/30の下りこう配をつけてパイプを埋め込んでください。
- 石こうボードにねじ固定する場合、石こうボード用アンカー（市販品）を使用して据付けてください。据付用穴位置は、上記外形寸法図を参考にし、石こうボード用アンカーに合わせてねじ固定してください。
- 製品据付面にシーリング材などがはみ出す場合、2mm以下としてください。

### ■据付方法は下記に従って選定してください。

据付方法	据付場所		
	天井	壁	
		据付高さ1.8m以上	据付高さ1.8m未満
ねじ固定	○	○	○
シーリング固定	×	×	○

○：推奨  
×：不可

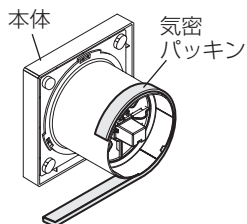
## 2. 本体の据付け

### お願い

- 本体とパネルユニットに砂などが付着するとパネルユニットの着脱やパネル開閉操作不具合の原因になりますので、本体とパネルユニットを清掃してください。
- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

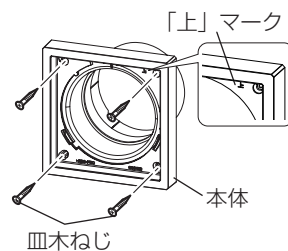
### 市販の皿木ねじで据付ける場合

#### 1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。

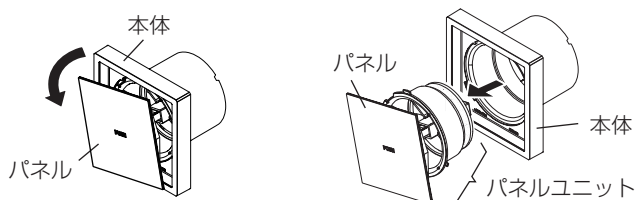


#### 3. 据付用長穴を用いて市販の皿木ねじ（4本）で固定する。

- 本体の「上」マークを上側にして据付けてください。
- 皿木ねじはφ4.1以下で長さ30mm以上を使用してください。
- 固定の際、本体が変形しないように据付けてください。すき間やパネルユニットの回転・着脱不良の原因となります。

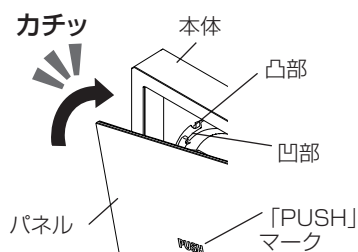


#### 2. パネル中央部を押して全開にする。パネルを左に回転させてから手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

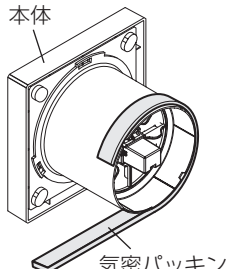
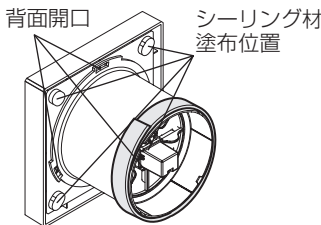
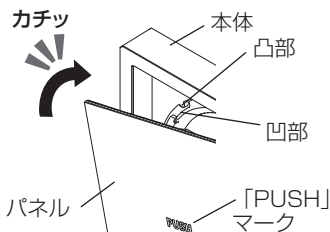


#### 4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、必ず「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

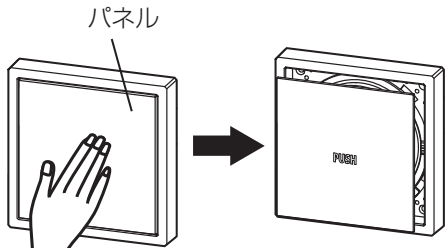
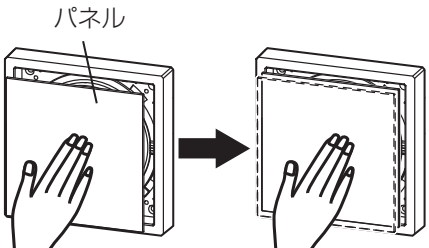
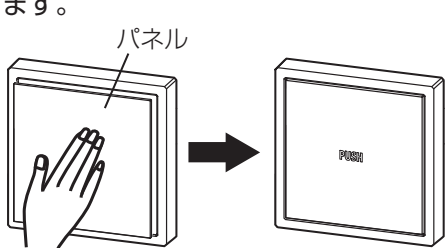


## シーリング材で据付ける場合

<p>1. 気密を確保するため、パイプ径に合わせて付属の気密パッキンを本体パイプの端面を基準に巻き付ける。</p>  <p>本体 気密パッキン</p>	<p>2. 下図の本体 4 か所にシーリング材を塗布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 背面開口（3か所）にシーリング材を付着させないでください。パネルユニットが回転できなくなります。</li> </ul>  <p>背面開口 シーリング材塗布位置</p>	<p>3. 製品の上下を確認し、設置したパイプへ水平に差し込み確実に固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 設置したパイプ内のほこり、水分をきれいにふき取ってください。</li> <li>● 据付面と本体の間にすき間ができないように据付けてください。</li> <li>● 壁との間にすき間ができた場合は市販のねじで固定してください。</li> </ul> <p>4. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、必ず「カチッ」と音がするまでパネルを右に回転させて固定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして据付けてください。</li> </ul> 
--	---	--

## 使用方法

※この製品はパネルを押すことで、3段階（全開・半開・全閉）の開口面積の調節が可能です。  
強風・豪雨時または冷気の侵入を感じる場合など、状況に応じて調節してください。

全開にする場合	半開にする場合	全閉にする場合
<p>全閉状態からパネル中央部を押すことで全開となります。</p>  <p>パネル 全閉 全開</p>	<p>全開状態からパネル中央部を1段階押すことで半開となります。</p>  <p>パネル 全開 半開</p>	<p>全開状態または半開状態からパネル中央部を押し込むことで全閉となります。</p>  <p>パネル 全開または半開 全閉</p>


### お願い

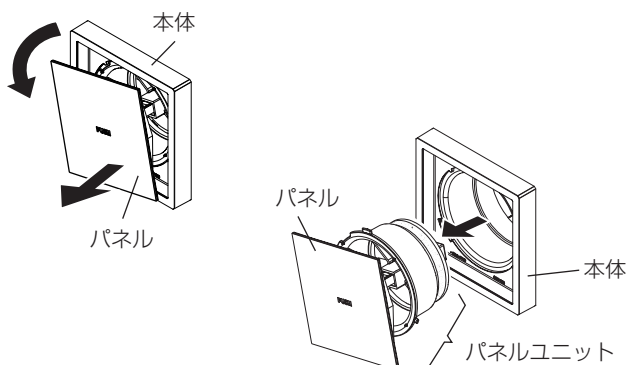
- 通常は全開状態で使用しますが、台風など外風が強い場合や水滴が入るおそれのある場合はパネルを「全閉」にしてください。その後は必ず「全開」にすることを忘れないでください。
- 使用環境条件により結露が発生することがあります。結露が発生した場合、水滴はふき取ってください。

## お手入れ

製品はほこりや砂が付着しますと風量低下やパネル開閉操作不具合などの原因になりますので、1～2か月に1度を目安に清掃してください。  
風向調整板付製品のお手入れは、風向調整板の取扱説明書をご覧ください。

## ⚠ 注意

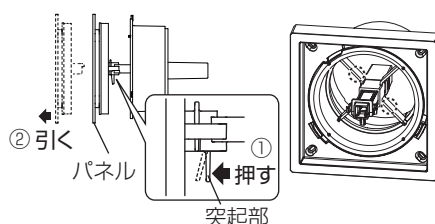
 <p>指示に従い必ず行う</p>	<p>● お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがをする原因）</p>
--	---



■ お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の脱着を行わないでください。

1. パネル中央部を押して全開にする。  
パネルを左に回転させてからパネルを手前に引き抜き、本体からパネルユニットを取り出す。

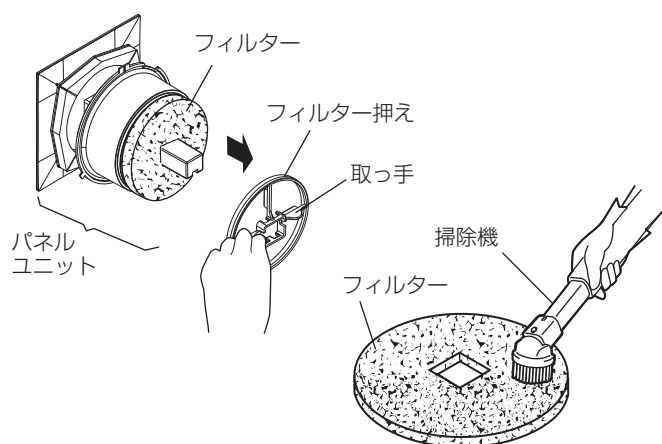
袖壁が近い、またはパネルの回転がスムーズでない場合



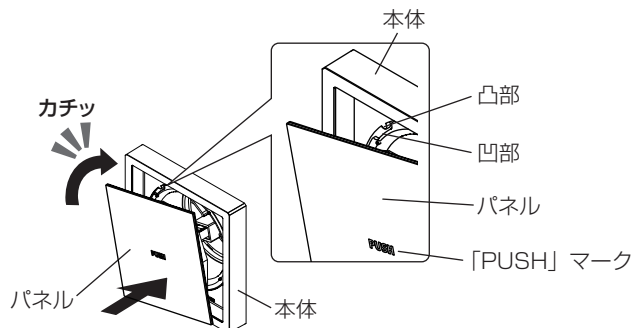
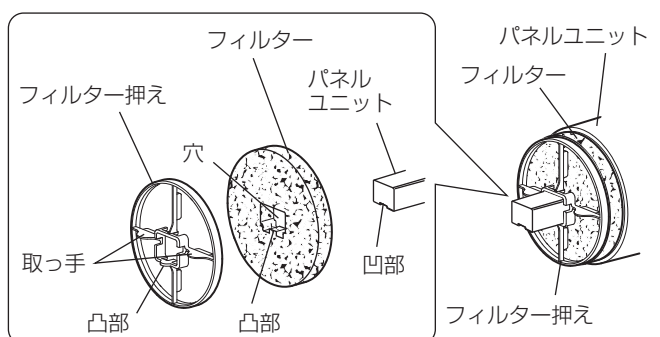
- パネル裏側の突起部を左図のように押しながらパネルを引き抜く。
- ユニットボックスの軸部根元(左図の○部)に指をかけて左に回転させてから手前に引き抜き、本体からユニットボックスを取り出す。
- 取りはずしたパネルは、ユニットボックスの取付けがすべて完了した後、元通り取付けてください。



# お手入れ つづき



フィルターの種類	交換用フィルター	適用形名
不織布フィルター	AT-100QRKF3-F	AT-100SQRKF4
	AT-150QRKF3-F	AT-150SQRKF4



## お願い

- 台所用中性洗剤を使用量の目安まで薄めて使用してください。(洗剤は原液のまま使用しないでください)
- 台所用中性洗剤で清掃した後は、中性洗剤が残らないようふきとってください。
- お手入れに下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや破損・変形・変質・変色、割れが発生する原因になります。  
(シンナー、アルコール、ベンジンなどの溶剤、ガソリン、灯油、カビ取り洗剤、柑橘系などの植物系洗剤、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系洗剤、化学ぞうきんの薬品、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など)
- フィルターをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- フィルターを入れ忘れると壁や天井が汚れる原因となりますので、フィルターを入れ忘れないようにしてください。

## 2. フィルター押えの取っ手を手前に引いて取りはずす。

- フィルター押えはパネルユニットから片側ずつははずすとスムーズに取りはずすことができます。

## 3. フィルターを取りはずす。

## 4. フィルターの清掃

- 軽く手でたたくまたは、掃除機でほこりを吸い取ります。
- 汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯(40℃以下)に台所用中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かします。

## お願い

- 押し洗いをした場合は、よく乾かして十分に水気を取ってください。
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことはしないでください。
- フィルターは、水洗い5、6回を目安に別売の交換用フィルターと交換してください。

## 5. 製品の汚れは薄めた台所用中性洗剤を浸した布で汚れ取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。

## お願い

- 製品に砂などが付着するとパネルユニットの着脱やパネル開閉操作不具合の原因になりますので、本体とパネルユニット(風向調整板)を清掃してください。

## 6. 取りはずしたフィルター・フィルター押えを元通り取付ける。

- フィルターは穴の凸部をパネルユニットの凹部側に向けてはめ込みます。
- フィルター押えは取手部を外向きにし、パネルユニットの凹部側とフィルター押えの凸部を合わせてはめ込みます。

## お願い

- フィルター押えは確実にパネルユニットに取付けてください。固定が不十分な場合、虫やほこり侵入のおそれがあります。

## 7. パネルユニットの凹部を本体の凸部に合わせて、パネルを右に回転させて固定する。

- パネル中央部の「PUSH」刻印が読める向きにして取付けてください。

## お願い

- パネルユニットを固定する際、必ず「カチッ」と音がするまで右に回転させてください。固定が不十分な場合、パネル開閉動作の不具合やパネルユニットが落下するおそれがあります。

## 8. パネル中央部を押してパネルを全閉にする。

- パネルを全閉にすることでパネルがシャフトに固定されます。

## 9. パネル中央部を押してパネルを全開にする。

- パネルに貼付けてあるクッションをはがさないでください。
- パネルユニットの動作機構部は分解しないでください。
- 設置時のフィルターから種類を変更する場合、換気性能に影響をあたえることがあります。
- 交換用フィルターは、純正品をご使用ください。純正品は、下記にてお買い求めいただけます。

## 交換用フィルターのご注文

### ■ オンラインショップ

<https://www.melcoairtec.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます



※お問合わせは、本紙末尾に記載されているフリーダイヤルよりご連絡ください。

# メルコエアテクノロジー株式会社

駒場事業所

〒508-0011

岐阜県中津川市駒場526-2

フリーダイヤル TEL: 0120-66-9893

FAX: 0120-66-9895

ホームページアドレス: <https://www.melat.co.jp/>